

労働力調査（詳細集計）平成26年（2014年）平均（速報）

～結果のポイント～

- 1 2014年平均の役員を除く雇用者5240万人のうち、正規の職員・従業員は前年に比べ16万人減少し、3278万人。非正規の職員・従業員は56万人増加し、1962万人。
非正規の職員・従業員について、男女別に現職の雇用形態について主な理由で最も多いものをみると、男性では「正規の職員・従業員の仕事がないから」が前年に比べ9万人減少、女性では「自分の都合のよい時間に働きたいから」が21万人増加

現職の雇用形態について主な理由で多いものをみると、

男性（非正規の職員・従業員 630万人）

「正規の職員・従業員の仕事がないから」・・・ 160万人（27.9%）と、9万人減少

「自分の都合のよい時間に働きたいから」・・・ 130万人（22.7%）と、12万人増加

女性（非正規の職員・従業員 1332万人）

「自分の都合のよい時間に働きたいから」・・・ 332万人（26.3%）と、21万人増加

「家計の補助・学費等を得たいから」・・・ 321万人（25.5%）と、7万人減少

（「本文」6ページ）

- 2 2014年平均の完全失業者236万人（前年に比べ29万人減少）のうち、失業期間が「1年以上」の者は前年に比べ15万人減少し、89万人と、2008年以来の低い水準

完全失業者を失業期間別にみると、

3か月未満・・・ 74万人と、2万人減少

3～6か月未満・・・ 33万人と、4万人減少

6か月～1年未満・・・ 33万人と、5万人減少

1年以上・・・ 89万人と、15万人減少

（「本文」7ページ）

- 3 2014年平均の非労働力人口4483万人（前年に比べ17万人減少）のうち、就業希望者は前年に比べ9万人減少し、419万人。就業非希望者は20万人減少し、3965万人。なお、就業非希望者のうち「65歳以上」は61万人増加

・就業希望者^{注)}（419万人）及び就業非希望者（3965万人）を男女別にみると、

<就業希望者>

男性・・・ 116万人と、3万人増加

女性・・・ 303万人と、12万人減少

<就業非希望者>

男性・・・ 1410万人と、1万人減少

女性・・・ 2555万人と、19万人減少

・就業希望者（419万人）のうち、非求職の理由を「出産・育児のため」とした者が101万人と、4万人減少。「介護・看護のため」とした者が21万人と、1万人増加

注) 就業を希望しているが「適当な仕事がありそうにない」などの理由により求職活動をしていない者

（「本文」11～13ページ）